



「こうして私は山に近づく」

大瀧知子

自分は「海派」だと思っていた。若かりし頃はウィンドサーフィンをやり、今は水泳を楽しんでいる。中学校での山の遠足は好きでもなかったし、それ以来、山とは縁がない。汗を流して、わざわざ高い所に行かなくてもいいのに、とか考えてもいたのに、そんな自分がクマさん会に近づくとは・・・

切っ掛けは、クマさん会の重鎮である吉松さんとの再会だ。元上司であり、第二の人生を謳歌している大先輩に、今後の処し方へのヒントを聞きたくて、私から一方的に誘ったのである。優しい吉松さんは「イヤ!」とも言わず（言えなかったのかな、すみません）私の愚痴も聞きながら（ボヤキばかりで、すみません...）一緒に飲んでくれる。不肖の元部下を持つ元上司は大変だが、こちらも生まれて初めての未体験ゾーンに突入するため、情報を集めるのに必死だったのである。

飲み会のよもやま話で、私が「いつか富士山に登ってみたいんですね」と口走ると、吉松さんが「この夏に登るよ」と言う。それも一合目から登るなんて、あら、面白そうだわ。でも、いきなり富士山に登るのは難しいので、事前に少し足慣らしが必要と言われ、クマさん会を知る。2016年1月にそんな話をして、2月に吉松さんに同行してもらって登山靴とリュックを買い、その足でクマさん会の定例飲み会に参加。3月に初心者向けの筑波山に初登山の予定だったが、天候不順で日程が変更となり、この原稿を書いている時点では残念ながら登山未経験の状況である。

「海派+山派」の自分になるかどうかは分からないが、新しいことに会うのは嬉しい。ちなみに、飲み友人に登山の話をしたら、クマさん会を知っていた。あら、ヤッパリご縁があるのかも。吉松さんに「ここは、何しろ温泉、一献付ですから、大瀧さんのためにあるようなものです」と言われ、そうかなあ...と半分納得しながら、初登山を楽しみにしている私である。